

「平成29年度普及に移す成果」

9月彼岸出荷向けの赤紫色小ギク新品種「常陸オータムゆうひ」

新品種「常陸オータムゆうひ」は、季咲きで9月上旬から9月下旬に開花する赤紫色品種で、9月彼岸出荷向けに適します。

花蕾数が多く、葉色が濃いため市場性評価が高く、また、慣行品種より切花長が長く、作りやすいため生産者評価も高いです。

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター
生物工学研究所
園芸研究所

9月彼岸出荷に適した赤紫色品種です

- ・開花期は、季咲きで9月上旬～9月下旬です。
- ・花色は、慣行品種「美人草」よりも濃い赤紫色です。
- ・「美人草」よりも切花長は長く、切花重は重いです。
- ・「美人草」よりも分枝数、花蕾数ともに多くボリュームがあります。



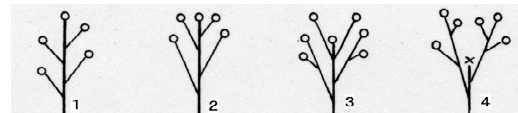
「常陸オータムゆうひ」の開花状況

表1 「常陸オータムゆうひ」の特性¹⁾
(H25～27の3か年平均)

品種名	花色	開花時期 始～終	切花長 (cm)	切花重 (g)	分枝数 (本)	花蕾数 (個)	FF ²⁾
常陸オータムゆうひ	赤紫	9/8～9/18	93	99	17	61	2.2
美人草	赤紫	9/18～9/25	75	83	9	31	2.8

1) 笠間市安居における結果 5月下旬定植

2) フラワーフォーメーション (右図)
求められるのは1～2の草姿。



市場、生産者の評価が良好

- ・市場からは、「美人草」と比較して、花蕾数と葉色に対する評価が高く、総合評価で約40%の回答者(43名中18名)から良好との評価を得ています。
- ・生産者からは、慣行品種と比較して‘作りやすさ’や‘切花長’の評価が高く、‘病虫害発生’の程度は少ないとの評価です。3名中2名の生産者が総合評価で「良」と評価しています。

活用上の留意点

- ・下枝の発生が多いですが、生産者からは「問題にならない程度」との評価を得ています。



「常陸オータムゆうひ」の草姿

<問い合わせ先：生物工学研究所果樹花き育種研究室 Tel 0299(45)8331
園芸研究所花き研究室 Tel 0299(45)8341 >